

# 第1回 駿河海岸漂砂管理計画検討委員会

## 議事要旨

### 1. 日時及び場所

日時：平成15年3月13日(木)

13:30～16:00

場所：ホテルセンチュリー静岡

### 2. 議事次第

1) 開会

2) 主催者挨拶

3) 委員長挨拶

4) 議事

(1) 検討委員会の目的

委員会の設立主旨

委員会規約

委員会の公開

(2) 委員会の検討フロー

(3) 委員会討議資料

(4) 討議

5) 閉会

### 3. 検討委員会の公開について

(1) 委員会の公開について

委員会は原則公開とする。

審議の円滑な進行のため、カメラ、ビデオ等の撮影は、冒頭の挨拶までとする。

委員会には傍聴席を設け、一般の傍聴は自由とする。但し、一般傍聴者の審議中の発言は認めない。

会議の開催案内は、事務所ホームページ、記者クラブへの情報提供等により行う。

記者会見は、委員会を公開することから原則として行わないものとする。

(2) 議事要旨

録音についても、冒頭の挨拶までとする。その他、委員会の内容については、委員会後議事の概要をとりまとめたものを公表するものとする。

#### 4. 委員会の検討フローについて

##### (1) 委員会の開催と審議内容について

本委員会の最終目標は、漂砂機構を解明し、防護、利用、環境のバランスのとれた駿河海岸全域の漂砂管理計画を得ることであり、大井川の左岸、右岸及び大井川を含む土砂の流れを適切に管理するために必要な、サンドバイパス、サンドリサイクルの手法、有脚式離岸堤の整備計画、及び焼津市田尻地先での突堤計画の再検討を行なう。

委員会は今回を含めて平成17年度までに4回を計画している。各事業の今後のスケジュールに合わせて委員会の開催を予定する。

委員会の進め方は、大井川から含めた全域の土砂の問題を踏まえた上で、焼津試験突堤周辺（焼津市田尻地先）の局所的な侵食と、最近越波の被災を受けた焼津市藤守地先を緊急的な問題を先に検討を進める。

#### 5. 委員会討議資料について

##### (1) 説明内容

事務局より委員会討議資料に関する説明が行われた。なお、委員会討議資料の内容は、以下のとおりである。

- 1) 駿河海岸（焼津市田尻地先～榛原町細江地先）の漂砂特性、
- 2) 駿河海岸における越波浸水の事例
- 3) 試験突堤周辺の漂砂機構及び下手側局所侵食に対する緊急養浜
- 4) 今後の検討課題

##### (2) 議事要旨

駿河海岸での海岸保全事業については平成15年度については概ね確定しているが、平成16年度以降は未定である。事業計画も委員会の議論を重ねることにより変わるものと考えている。

台風の経路、風向等によりそれぞれ個性のある越波が発生していると思われるので、越波の現象を説明できるように今後データの整理を行う。

越波箇所での緊急対策については、現状維持を行なうという意味なのか全体的な計画についての優先順位の意味なのかを整理する必要がある。

試験突堤箇所での局所洗掘の対策として行っているこれまでの養浜の方法（盛土形状）は、薄く、広く盛土する等の工夫の余地がある。

今後の検討を進めていく上でサンドバイパスというのは、80mに不足している前浜増進するには積極的に考えていく必要がある。そのための供給先として、まずは、大井川港南防波堤箇所での堆積土砂で考えていく。

#### 今後の調査について

- ・ 深浅測量や、波浪観測（駿河海洋施設）等の基礎調査を継続実施する。
- ・ 試験突堤周辺での波の収斂、発散状況把握のため2～3点、2年程度波浪観測を新規実施する。
- ・ 試験突堤周辺での土量変化状況の把握のため、マルチビームを用いて面的に地形を測定する。
- ・ 試験突堤周辺で施工した養浜材料の移動状況を把握するために追跡調査を実施する。
- ・ 大井川からの流出土砂状況の把握のために、大井川河口周辺の洪水前後の測量を実施する。
- ・ 今までにあるデータをわかりやすい形で説明できる駿河海岸海浜変形モデルの作成を進める。

#### 6. 今後の予定等について

本委員会で協議された事項を踏まえ、検討、調査内容についても対応する。平成15年度の早い時期に第2回の委員会を開催することを予定している。

以上